

2023年度事業報告書

特定非営利活動法人ASOVIVA

I 事業期間

2023年4月1日～2024年3月31日

II 事業の成果

本年度はくつろぎ自由研究室の本格営業が開始し、地域の学校に通う子どもたちや近隣の方など、様々な交流が生まれたことが大きな変化だった。

また法人設立及びスクール開校5年目という節目となる年であり、これまでの実践や考え方をまとめた書籍の自費出版とその費用を募るクラウドファンディングを通してASOVIVAの更なる認知拡大に努めた。これまでの発信に加え、Instagramでのライブ配信や、子どもの質問を元にしたアンケートの実施など、子どもたちが多様な大人像に触れられる機会の創出も試みた。

スクール在籍数は年度始まり33名、年度末時点で30名だった。年度中に6名増加し9名が退会した（内訳：卒業4名、進学2名、他フリースクール1名、編入して復学1名、ホームスクーリング1名）。

開校以来初めての卒業式が卒業生自らの企画実施で執り行われ、それぞれがASOVIVAで得たもの、学んだことを表現した卒業制作を発表した。卒業生たちの進路は、他県の全日制高等学校1名、府内の専門学校1名、短期大学1名、4年生大学1名。また、他の2名は府内の通信制高等学校、他県の私立中学校にそれぞれ進学した。

退会はせず、在籍したまま地域の在籍校や進学先に復学した者も数名おり、自分の進路を前向きに考えた選択肢として、子どもたち自らが決めて学校という道へ進んでいくようになり、これまでの実践の成果が見える形となって顕れてきたと言える。

III 事業の実施状況

(1) 運営基盤の強化

1) 収入の増加を図る

年度内は最多時で38名の在籍となり、一定の目標には達したと言えるが、復学や進学等で人数が減る時期の対策は課題として残る。

視察や研修、講師等の機会は前年度に比べて増え、収入増に繋がった。また、高校のボランティア実習先として生徒たちの受け入れや、外部団体からのスタッフ実習の受け入れもあった。

2) 労働環境を整える

業務を見直し、サービス残業を減らす取り組みを進めた。ボランティアスタッフも増えつつあり、引き続き、就業時間内で業務を進めていけるよう取り組む。

又、事業収益の増加により、賃金の引き上げができた。

3)安全面への対策強化

個人情報関連の書類を鍵付きの書棚に保管し、漏洩防止策を強化した。

災害時や緊急時の対応や対策についてマニュアル化する課題が残る。

(2) デモクラティックスクールASOVIVA!(デモクラティックスクール事業)

1)入学者数増加を図る

・新規見学時は1組に限定し、個別性の高い話がじっくりできるようにした。

・対象年齢の5才になったら入学したいと考えている4歳児が体験入学できる日を作った。

年度内の入学者増にはあまり結びつかなかったが、この体制を継続していく。

見学に来ては今も子ども自身が必要としていないケースも多く、保護者の焦りや不安を解消したり、家庭での関わり方についてアドバイスをすることも重要な役割と考える。

2)学びを深めていける仕組み作り

・魚捌き、イノシン解体、木工、サンキャッチャー作り、ベーグル作り、プラモデル作りなど、様々な体験の機会を作った。

・外部のイベント出店、曽爾への宿泊合宿など、子ども達が企画段階から取り組む行事を実施。

3)くつろぎ自由研究室の活用

・活動時に子どもたちが行き来できる日を作り、活動の幅を広げた。

・平日にランチ営業がある時はランチを食べに行く子どももいる。また、中高生がクッキーやベーグル作りの講師となってスクール内外の子どもたちに教えたり、土日も含め高校生たちが自分の好きなことを生かして焼き菓子を販売したり、ハンドリラクゼーションを提供するなどした。

・小中学生は自分が作った雑貨や描いた絵などを販売した。

(3) びばっば(デモクラティック生涯学習支援事業)

・今年度は十分な活用ができなかったが、筍掘りに行った。

(4)くつろぎ自由研究室(デモクラティック生涯学習支援事業)

・地域の小学校に通う子どもたちが下校後に寄って宿題をして帰ることもあり、プチ学童のような役割も担うようになった。ASOVIVAの子どもたちとも自然な関わりが生まれている。

・不登校で悩む親子などが営業時に訪れ、スタッフやメンバーと交流するうちに元気を取り戻して自分の進路を前向きに考えられるようになるなど、波及効果も生まれている。

・近隣にごはん屋や商店がほとんどない地域のため、近所の方がランチを食べに来られたり、サイクリストたちが口コミで訪れたり、だんじり祭り時の休憩所として利用されるなど、スクールだけではなかった地域社会との交流が生まれている。

(5)お話会(デモクラティック生涯学習支援事業)

1)オンラインを含め、お話会を数回実施。リクエストにより個別相談に変更しても数回実施。

(6)書籍発行(デモクラティックスクール事業)

1)自費出版費用をクラウドファンディングで募り、1,000部発行して販売開始。

(支援者158名、支援額は156万1,000円)

IV 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 (E)人数	事業費の金額(概算) (単位:千円)
(1)デモクラティックスクール事業 「デモクラティックスクールASOVIVA!」	学校の代替となる学びの場。子どもが主体的に参加し民主的に運営するコミュニティースクール。	(A) 通年 (B) 南河内郡河南町寛弘寺756 (C) 3人	(D)町内及び近隣他市の5歳～18歳 (E)30名程度	8,606
(2)デモクラティックス生涯学習支援事業 ①びばっば	千早赤阪村小吹に借りている竹林を整備し、野外活動場所として活用する。	(A) 3回 (B) 南河内郡千早赤阪村小吹の山中 (C) 3人	(D)(1)の受益者とその保護者、地域住民、他団体など (E)各回10名程度	458
②お話し会等	子育ての悩みなど、テーマごとに対話の場や講座の機会を設けて大人が学びを深められる機会を作る。	(A)3回 (B)南河内郡河南町寛弘寺756 (C)2人	(D)主に成人 (E)各回6名程度	460
③くつろぎ自由研究室	地域の人と協働で運営するコミュニティショップの運営。	(A)通年 (B)南河内郡河南町寛弘寺 (C)3人	(D)(1)の受益者、地域住民、他 (E)約500名	2,227